

後期高齢者医療外来人間ドック助成金交付申請書の誤送付について (保険年金課)

保健福祉部保険年金課において、後期高齢者医療外来人間ドック助成金交付申請書（以下「申請書」という。）を誤送付した事案（以下「本件事案」という。）が発生しましたので、以下のとおり、本件事案の内容と再発防止策等について公表いたします。

また、関係者の皆さまには、多大なるご心配やご迷惑をおかけすることになり、心からお詫び申し上げますとともに、再発防止策を講じることにより、今後このような事案が生じないように努めてまいります。

1 事実経過

- (1) 令和8年5月22日（金曜日）
 - ・ 保険年金課の職員が、A氏及びB氏を含む対象者28名に対して送付するために、案内文書及び申請書（以下、併せて「申請書等」という。）を並行して印刷した。
 - ・ 印刷した申請書には、対象者の氏名、生年月日、性別、住所、電話番号及び被保険者番号が記載されていた。
 - ・ 申請書等を印刷した職員が、保険年金課の別の職員に申請書等の封入及び送付を依頼し、依頼を受けた職員が、申請書等を封筒に入れ、対象者に送付した。
- (2) 同月25日（月曜日）
 - ・ A氏から、自身の申請書がB氏に届いた旨の連絡を受けた。
 - ・ 職員が事実関係を確認したところ、送付した対象者の宛先と、封入された申請書に記載された個人情報とが、発送した28名全員において一致しておらず、全ての対象者に別人の申請書を送付していたことが分かり、本件事案が発覚した。
 - ・ 対象者全員に架電し、経緯を説明したうえで謝罪した。あわせて、封書が未開封の場合は開封しないよう伝えた。
- (3) 同月25日～27日（月曜日～水曜日）
 - ・ 全ての対象者の自宅を訪問し、封書を回収した。回収した封書のうちA氏を含む8名の封書が開封されていた。
 - ・ 開封していた対象者に対しては、今回知り得た情報を口外しないよう依頼し、了承を得た。

2 漏えいした情報

- ・ A氏含む送付対象者8名の氏名、生年月日、性別、住所、電話番号及び被保険者番号

3 漏えいの原因

- ・ 申請書を作成した職員が封入する職員に対し、申請書に個人情報が記載されていることを説明していなかった。
- ・ 申請書を封入する際、内容物と宛名とが一致しているか複数人でのダブルチェックをしていなかった。

4 再発防止措置

- ・ 封入をする職員に対し、封入物の内容、作業の流れ、注意点など詳細に説明する。
- ・ 封入する際は、宛名と内容物が一致するか、複数人による確認を厳守する。
- ・ 今後作成する文書や通知文等において、個人情報の記載を必要最低限にとどめるよう徹底する。